

湖西市地球温暖化対策実行計画（概要版）

～カーボンニュートラルが描く湖西の未来～

●地球温暖化と気候変動問題

近年、二酸化炭素をはじめとした温室効果ガスの増加により、地球温暖化が進行しています。地球温暖化により、海面上昇、自然災害の激甚化、さらには生態系や農作物にまで被害が及ぶ可能性があるとされており、これらの問題は気候変動問題と呼ばれ、地球全体で取り組むべき喫緊の課題となっています。

国際社会においては、この気候変動問題に対して、2050年までに温室効果ガスの排出量を実質ゼロとし、産業革命以降の平均気温上昇1.5℃を目指すことを努力目標としました。我が国においても、「2050年カーボンニュートラル宣言」が表明され、2050年までに脱炭素社会の実現を目指すことが宣言されています。

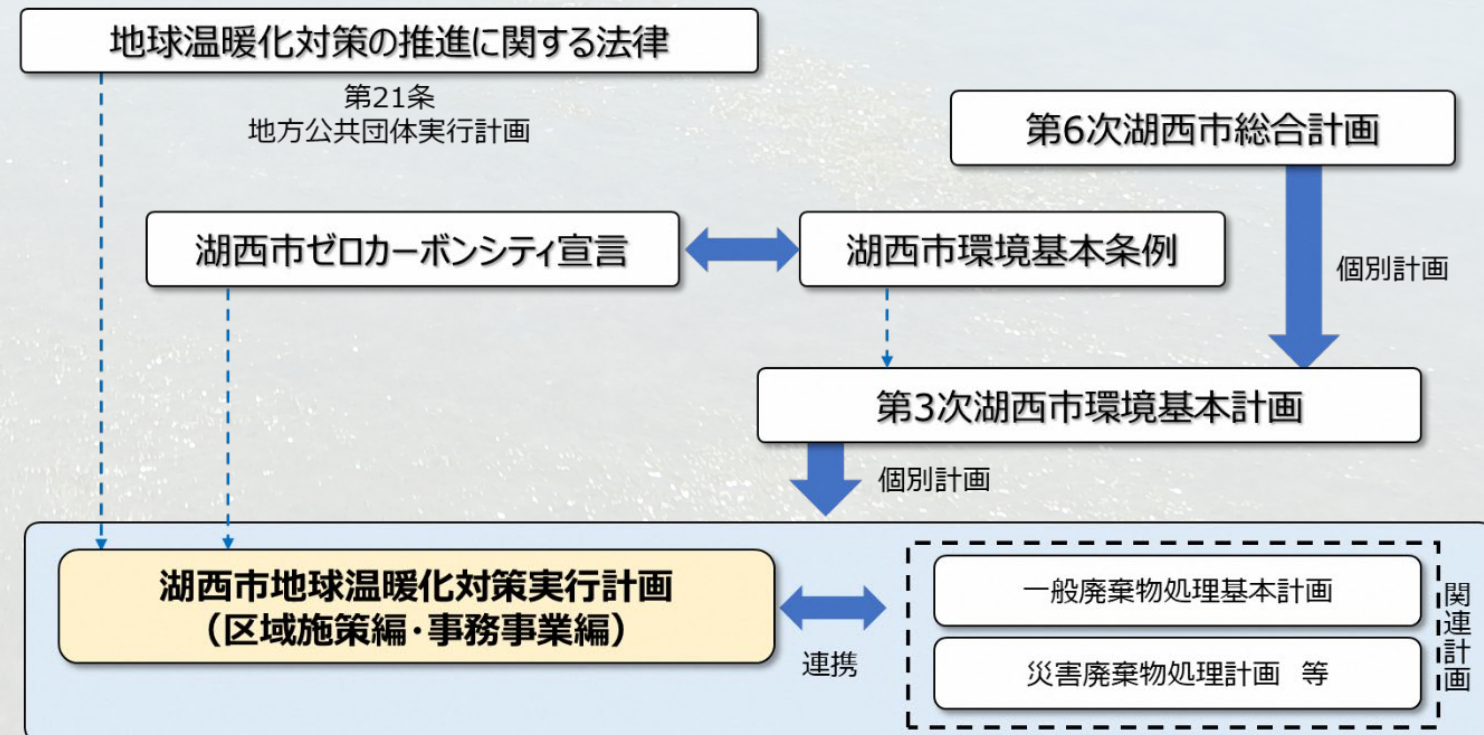
こういった国内外の動向を受け、本市は2021年7月21日の市長定例記者会見において、脱炭素社会の実現に向けて、2050年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」に取り組むことを宣言しました。



●計画の趣旨・位置付け

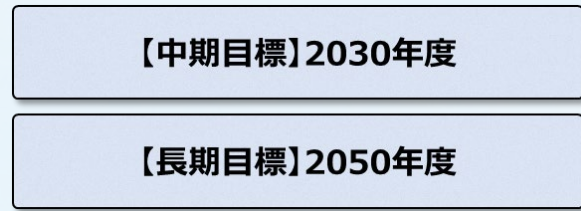
本計画は、本市のゼロカーボンシティの実現に向けて、地球温暖化対策の推進に関する法律に基づく実行計画として、市民、事業者、行政の各主体が温室効果ガス排出量の削減に取り組み、地球温暖化対策の推進を図るための実行計画です。

また、本計画は「第3次湖西市環境基本計画」の地球温暖化対策に関する計画として位置付けます。「湖西市ゼロカーボンシティ宣言」で掲げる2050年を目途に温室効果ガス排出量を実質ゼロとすることを旨とするための具体的な施策を記載した計画とします。

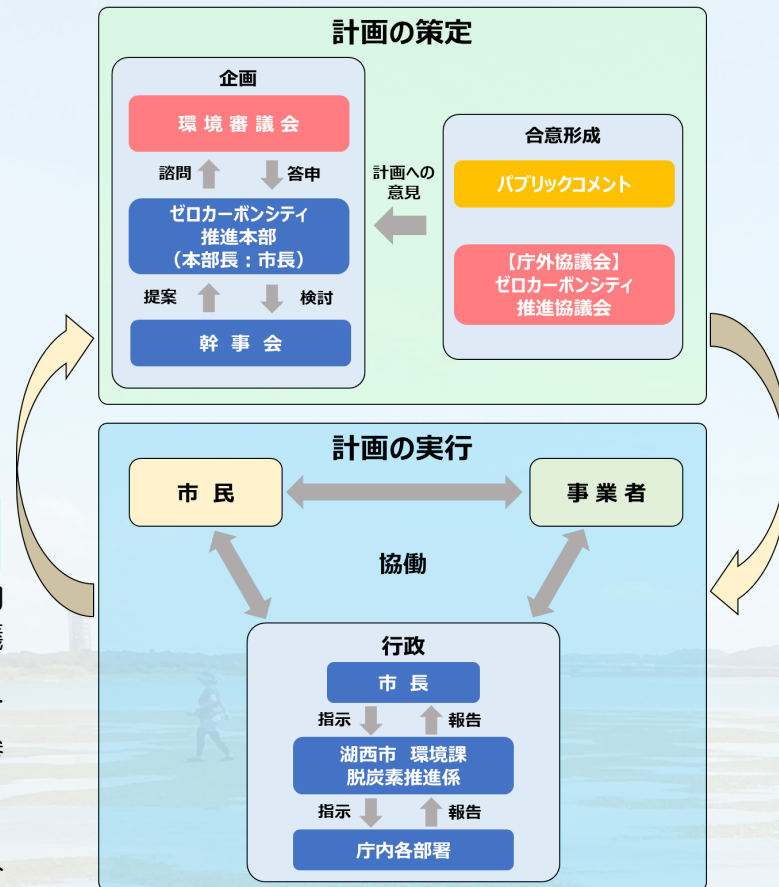


●計画の期間・推進体制

本計画の期間としては、国の中期目標と整合を図るため、中期目標を2030年度、長期目標を2050年度とします。



計画の推進体制は、市民・事業者・市の各主体が協働して地球温暖化対策に取り組むとともに、湖西市ゼロカーボンシティ推進協議会と連携して着実な施策の推進・進捗管理を行います。



湖西市ゼロカーボンシティ推進協議会

本市は、ゼロカーボンシティを一体的かつ総合的に推進していくため、ゼロカーボンシティ推進協議会を設置しています。

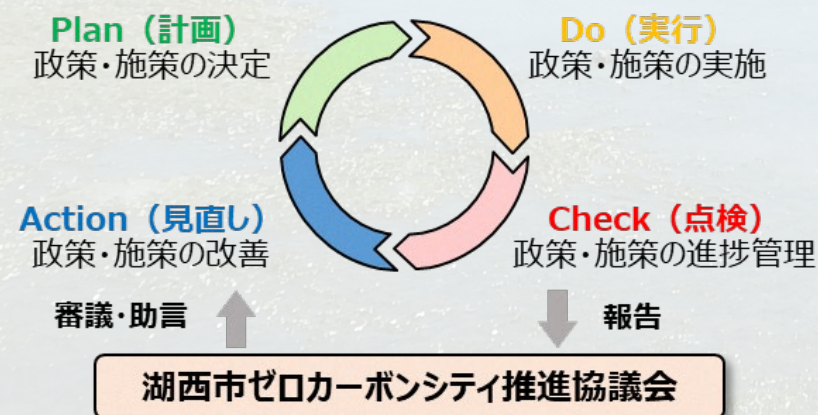
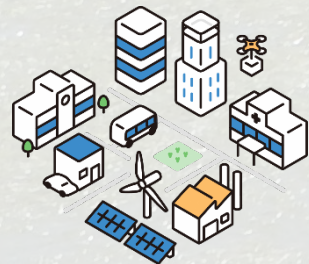
市民・事業者・関連団体・有識者から構成されており、本市独自の試みとして、市内の高校生にご参加いただいています。

今後の計画推進においても、ゼロカーボンシティ推進協議会をはじめ、「オール湖西」での取り組みを推進することにより、2050年ゼロカーボンシティの実現を目指します。

●計画の進捗管理・評価

湖西市ゼロカーボンシティ推進協議会との連携を通じてPDCAサイクルを回すことで適正な進捗管理を実施します。

計画を評価するにあたっては、各施策において定める進捗管理指標や毎年度の温室効果ガス排出量のモニタリング結果により評価を行います。



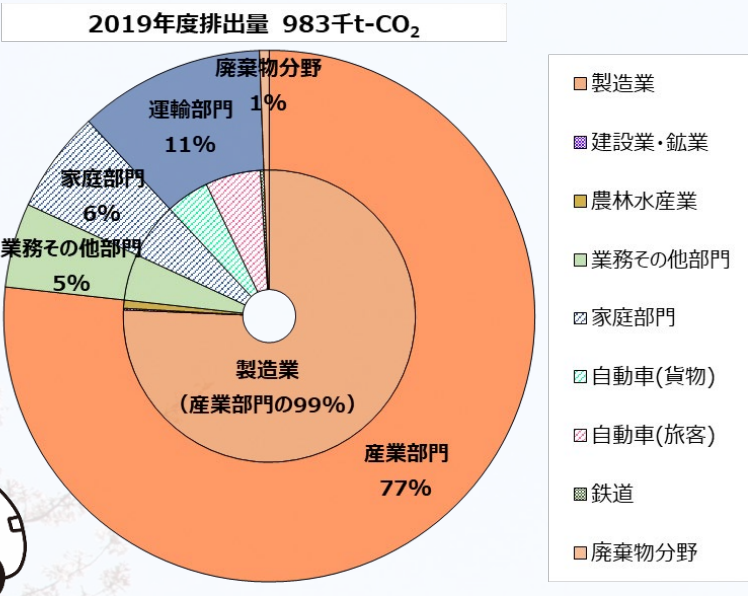
湖西市地球温暖化対策実行計画（概要版）

～カーボンニュートラルが描く湖西の未来～

令和6年3月発行
湖西市 環境課 脱炭素推進係
〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地
TEL: 053-576-1141 FAX: 053-576-4880

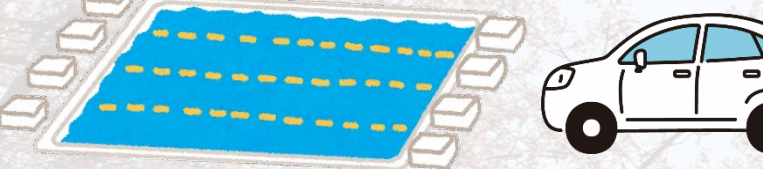
●現状の温室効果ガス排出量

本市の現状の温室効果ガス排出量（2019年度）は、983千t-CO₂となっています。
産業部門の排出が最も多く、その内製造業からの排出がほとんどとなっています。



二酸化炭素1t-CO₂ってどれくらい?

二酸化炭素1t-CO₂とは、25mのプールの体積と同じといわれています。また、車の走行で例えると、ガソリンの普通自動車を1年間乗った場合1t-CO₂となります（年間6千km走行と仮定）。



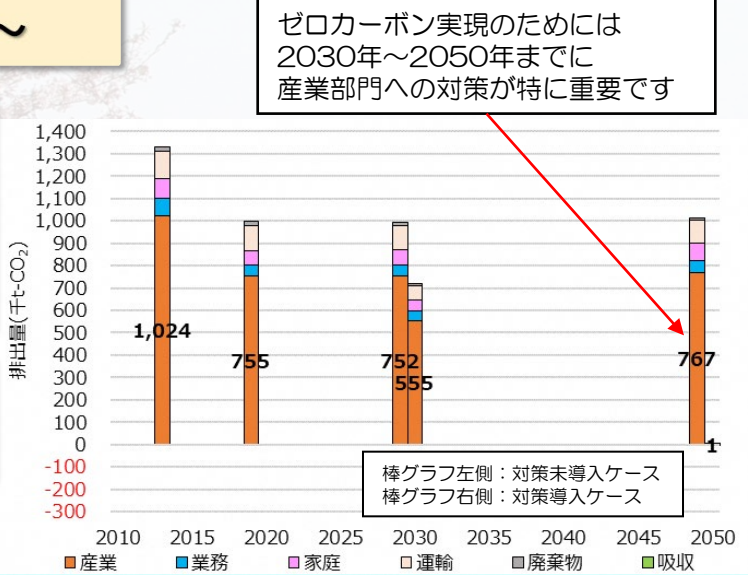
●温室効果ガスの削減目標

市民・事業者・行政が一体となって地球温暖化対策を講じることで、中期目標として、2030年度までに市内の温室効果ガス排出量を2013年度比で46%削減することを目指します（うち、事務事業編については、2013年度比で50%削減することを目指します）。また、長期目標として、2050年度までに温室効果ガス排出量実質ゼロを目指します。

～カーボンニュートラルが描く湖西の未来～

【中期目標】2030年度
温室効果ガスを2013年度比で**46%削減**を目指します
※事務事業編としては、2013年度比で**50%削減**を目指します

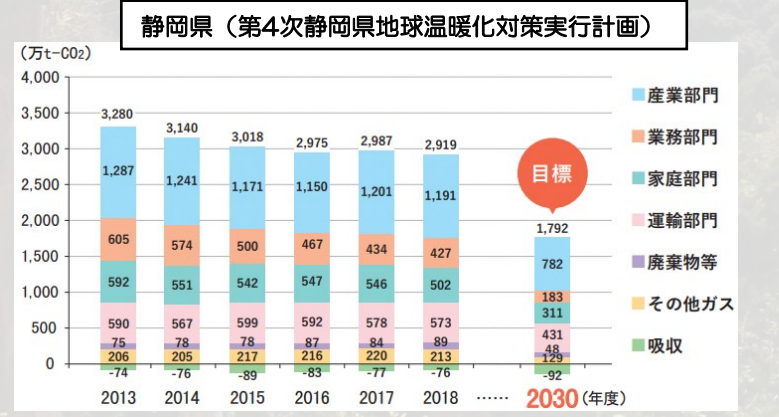
【長期目標】2050年度
温室効果ガス排出量**実質ゼロ**を目指します



国や静岡県の削減目標

国や静岡県も本計画を策定しており、2030年度の温室効果ガス削減目標を示しています。国は2013年度比で46%削減、静岡県は2013年度比で46.6%削減を目標としています。

温室効果ガス排出量・吸収量 (単位：千t-CO ₂)	2013排出実績	2030排出量	削減率	従来目標
エネルギー起源CO ₂	12.35	6.77	▲45%	▲25%
産業	4.63	2.89	▲38%	▲7%
業務その他	2.38	1.16	▲51%	▲40%
家庭	2.08	0.70	▲66%	▲39%
運輸	2.24	1.46	▲35%	▲27%
エネルギー転換	1.06	0.56	▲47%	▲27%
非エネルギー起源CO ₂ 、メタン、N ₂ O	1.34	1.15	▲14%	▲8%
HFC等4ガス（フロン類）	0.39	0.22	▲44%	▲25%
吸収源	-	▲0.48	-	(▲0.37千t-CO ₂)
二国間クレジット制度（JCM）	国民連携で2030年度までの累積で1億t-CO ₂ 程度の国際的な排出削減・吸収量を目指す。我が国として獲得したクレジットを我が国のNDC達成のために適切にカウントする。			



●目標達成に向けた施策

本市における温室効果ガス削減目標の達成に向けて、「湖西市ゼロカーボンシティ宣言」における4つの柱に基づき、以下の施策を推進していきます。

施策の柱	施策	取組内容	各主体の役割		
			市民	事業者	行政
[1] 省エネルギーの推進と再生可能エネルギー等の普及	(1) 太陽光発電の導入促進	① 住宅への太陽光発電の導入促進	○	○	○
		② 事業所への太陽光発電の導入促進		○	○
	(2) 太陽光発電以外の再生エネルギーの導入検討	③ 遊休地への太陽光発電の導入推進		○	○
		④ 農業の阻害とならない農地への太陽光発電の導入推進	○	○	○
	(3) 家庭における省エネの促進	⑤ ペロブスカイト等の最新技術の導入推進		○	○
		① 陸上風力発電の導入推進		○	○
	(4) 関係自治体との連携による「地域循環共生圏」の構築	② バイオマス発電導入推進		○	○
③ 水力発電等の再生エネルギーの推進			○	○	
(5) 「脱炭素先行地域」・「重点対策加速化事業」など、国の支援を活用した取組	④ 次世代再生エネの導入に向けた調査		○	○	
	① 住宅への省エネ対策実施の促進	○	○	○	
(6) ブルーカーボン・グリーンカーボンによる温室効果ガス吸収源の確保	② エコドライブの促進	○	○	○	
	③ 公共交通利用の促進	○	○	○	
(7) 地域マイクログリッドの構築	④ ごみの減量化・資源化の推進	○	○	○	
	① 地域プラットフォームの構築に向けた検討	○	○	○	
[2] 「モノづくり産業」の持続可能な発展に向けた産業支援	(1) 事業所等における省エネ促進	② 地域循環共生圏の事業検討	○	○	○
		① 促進区域の設定	○	○	○
② 脱炭素先行地域・重点対策加速化事業など、国の支援を活用した取組		○	○	○	
③ 都市緑化の促進		○	○	○	
④ 森林吸収源の確保			○	○	
⑤ アマモ達の保全		○	○	○	
⑥ Jクレジット制度の活用			○	○	
(2) 市内自動車の次世代自動車化促進	① 地域新電力の設立検討	○	○	○	
	② 事業所間におけるエネルギー効率化検討		○	○	
[3] オール湖西による脱炭素社会の形成に向けた、地球温暖化に対する普及啓発	(1) 国、自治体、事業者、市民等の各ステークホルダーとの連携による普及啓発	① 事業所及び工場への省エネ対策実施の促進		○	○
		② 農林水産業への省エネ対策実施の促進		○	○
③ 金融機関と連携した省エネ促進		○	○	○	
④ 熱源設備の燃料転換による低炭素化の促進			○	○	
⑤ 自立・分散型エネルギーシステムの導入促進			○	○	
⑥ エコドライブの促進			○	○	
(2) 自治会等の地域ネットワークを活用した市民向け広報活動	⑦ 公共交通利用の促進		○	○	
	① 旅客自動車の次世代自動車化の支援	○		○	
[4] 行政におけるゼロカーボン化の推進（事務事業編）	(1) 市職員向けの普及啓発活動と横展開	② 貨物自動車の技術動向の調査		○	○
		③ 次世代自動車の導入に向けたインフラ整備		○	○
(2) 公共施設の省エネルギー化	(1) 環境教育イベントの開催	① 環境教育イベントの開催		○	○
		② 多様な分野連携による次世代を担う環境リーダーの育成		○	○
(3) 公共施設への太陽光発電導入	(2) 温暖化対策アプリによる取組意欲の向上	③ 各世代に対応する環境学習プログラムの検討		○	○
		④ 事業者に対するセミナー		○	○
(4) 公共施設への自立・分散型エネルギーの設備等の導入	(3) 環境認証の取得	⑤ SNSを活用した情報発信の継続	○	○	○
		⑥ 多様な媒体による環境情報の発信		○	○
(5) 公用車を次世代自動車へ更新	(4) 脱炭素に関する意見交換プラットフォームの構築	① 脱炭素に関する意見交換プラットフォームの構築	○	○	○
		② 脱炭素に関する情報発信		○	○
(1) 市職員向けの普及啓発活動と横展開	(2) 公共施設へのLED照明の導入	① 公共施設へのLED照明の導入		○	○
		② LED照明導入による成果の情報発信		○	○
(2) 公共施設の省エネルギー化	(3) 公共施設への太陽光発電導入	③ 新築時のZEB化推進		○	○
		① 公共施設への太陽光発電の導入		○	○
(3) 公共施設への太陽光発電導入	(4) 公共施設への自立・分散型エネルギーの設備等の導入	② モデル事業の成果の情報発信		○	○
		① 公共施設への自立・分散型エネルギー導入		○	○
(4) 公共施設への自立・分散型エネルギーの設備等の導入	(5) 公用車を次世代自動車へ更新	② モデル事業の成果の情報発信		○	○
		① 公用車の次世代自動車化の推進		○	○

出典：環境省「地球温暖化対策計画 概要」

出典：静岡県「第4次静岡県地球温暖化対策実行計画（概要版）」